

# いっぽ だより

2022年度 No. 8

はじめのいっぽ

2022年11月28日

皆様お元気でお過ごしでしょうか。

ちょっと前まで初冬の風物詩であった各家庭の庭先の大根干し。何日か干すと「への字」のように曲がり漬け時の合図でした。いっぽでは毎年漬物をつけて美味しく頂いております。発酵食品が身体にいい事を子どもたちに伝えていきます。今ではめっきり少なくなりましたが、昔ながらの漬物文化を遺したいと思うのは私だけではないと思います。この時期落ち葉清掃をしながら焼きいもをして食べるのも楽しみのひとつです。

以前から子どもたちの遊び場に計画してきた途別のD型倉庫の改装工事ですが、今年10月ごろからと予定しておりました。しかし改装工事会社の都合により来年4月から工事が始まるようになりましたので、今しばらくお待ちくださいますようお願いいたします。

皆様ご承知のように最近のインフレ・円安による物価高騰で、食材・教材・ありとあらゆる物が値上がりし、いっぽでも大きく影響を受けています。こんな折に保護者さんからの差し入れが、本当にありがたく有効に利活用させて頂いております。ありがとうございます。

新型コロナウイルスも寒い季節を迎え第8波の兆しを見せています。この十勝帯広も拡大傾向にあり、予断を許さない状況が続いていますので、改めて感染対策である手洗い・うがい・消毒・検温そしてマスクの励行をお願いいたします。

もう師走、一年あつという間に過ぎようとしています。皆さんにとって令和4年はどんな年だったでしょうか。色々な目標を持って挑戦された方もおられるでしょう。一年を振り返りながら新たな希望に向かって前に進みたいものです。

また痛ましい事故です。父親が2歳の子を保育園に預けたと思い込み、実は車に放置したまま車を離れ、子どもは熱中症で亡くなっていました。どうしてこう次から次へと子どもに関わる事故が後を絶たないのでしょうか。先日送迎中、前を走る車を見ると1歳ぐらいの子がシートベルトもせずに車内を動き回っていました。運転する母親はどんな気持ちでいるのか理解ができません。せっかく授かった小さくても尊い命。「子どもは社会の宝物」です。はじめのいっぽでも、もっともっと真剣に子どもと接しなければと思うこの頃です。



代表 石橋 和久

## 12月のスケジュール

日時	行事
12月9日(金)	あっちこっち紙芝居
12月19日(月)	定例会議
12月23日(金)	クリスマス会
12月27日(火)	もちつき大会

## 小中学生編（11月活動）



11月1日はわか子先生の一周忌で、11月のはじめのいっばは、子どもたちと一緒にお線香をあげ、手を合わせに行くことから始まりました。



11月8日月食の日、天体が大好きなYくんが、どのように月食が始まるのか、今回の月食は珍しい天王星も並ぶ月食であることを誰かに伝えたい気持ちが溢れ目が輝きに満ちていました。そんな子に真剣に向かい合う大人でありたいと思っております。



また子ども同士学び合う大切な場も忘れずに作ってあげたいものです。



子どもたちが季節を感じ去年もやった焼芋を焼きたいと言い、落ち葉拾いから始めることとなりました。焼芋を焼く目的があるので枯葉集めも楽しさ倍増です。何事も楽しくなくてはね!



“食べなきゃ危険”という本を読んで現代の食物はミネラル不足！そこに加えて添加物はそのミネラルを排泄してしまうことにより、さらにミネラル不足に！



その本には、ミネラル不足を解消することにより発達障害や低体温・偏食・成績不振などが改善された事例が数多く載せられておりました。読んだその日から即実行、ミネラルたっぷりのマイワシとあごの煮干し昆布でとった出汁を使ったおやつにより、子どもたちに変化が現れ始めております。



11月に入っても外活動は盛んに行われています。みんなで広場を駆け回ったり、大きな十字鬼のコートを作ったり、綱渡りを使って陣取り合戦をやったりと、広い遊び場を目一杯使って遊んでいます。スタッフは、この広い遊び場に感謝の気持ちを忘れずに安全を確保しています。

## クリスマス会準備

11月にしては暖かい日が続いていますが、気分は12月のクリスマスや冬休み！雪が待ち遠しいっぽです。子どもたちと軒下にイルミネーションをつけたりしながら冬にやりたいことをあれやこれやと話しています。



室内用のクリスマスオーナメント制作も盛んにおこなわれています。これらの活動はクリスマスのイベントだけが目的ではなく、制作活動を通じて手指を動かし体全体に刺激を与える事です。最近、モノ作りする際、「どーやって作ったらいいだろう？」と作り方をインターネットで検索することから始めてしましますが、これでは指導する側の発想力もどんどん退化して行きがちです。出来る限りある材料で頭の中に完成品を想像しながら作り上げていく、そんな制作活動を目指して子どもたちと日夜切磋琢磨して楽しんでいきます。



12月のクリスマスはお祭り気分ですが、年末年始に向けた日本の大切な文化を伝えることも忘れずに12月は過ごしていきたいと思います。もちつきに、新年を迎えるための準備・・・子どもたち含め大人も思い出すことが出来るかな？



“大きなリースづくり”太いぶどうのつるを「どうやって丸く編んで行くの？」子どもの質問に答えるべく大人も頭を悩めます。そういえば子どもの頃、私の祖父が太いロープを編むときに地面に杭を打ち込んで丸く編んでいたことを思い出してやってみることに・・・子どもの頃に体験していたことが役に立つ、生きる力とは生活の中こそ継承されて行くものだなアとつくづく感じるのです。いっぽの子にも大人になった時思い出して欲しいと、汗をかきました。

## ひつじ組 編 (午前未就学児)

### ～日々の屋外活動～

寒くなってきましたが、必ず戸外活動に出かけて、毎日が大発見の連続のお友だち！

全身を使って、自分の興味関心のあることを、とことんやってみようとする姿は、大人からすると何気ない事なのかもしれませんが、たとえて言うなら、石器時代の人類が火を初めて発見した時の様な、そのくらいすごいことなんです。

ですから、私たちはこれからも自然の力をお借りして、子どもたちの五感の発達を促して行きたいと思います。



### ～日々の室内活動～

朝、みんな集まると「おはよう！」のあいさつをし、てあそびやわらべうたをした後、一度は外活動に出ますが、心身の発散をした後は、室内で静かな活動に切り替わります。描画活動は、お外で思い切り遊んだ後では、思いがけない様な絵を描くことができます。

また、シールを貼ったり、のりをつけて貼ったりしている時の集中力は真剣そのものです。手指操作の発達のためにも、今後も少しずつレベルアップし、そして楽しみながら、制作活動を行いたいと思います。

子どもたちが大好きな粘土、創造力をフル回転して、「お寿司！」「にんじん！」などなど、可愛い手で一所懸命取り組む姿はなんとも言えません。時には「せんせ～！おばけつくって～」と難題を言われることも！ 私たちもみんなの願いを叶えるべく、いろいろな引き出しをいつでも開けられるよう、アンテナを張ってきたいものです。

